

2022 年度  
能力強化研修

# 円借款の建設工事の安全管理に係る 能力強化研修

— JICA 安全標準仕様書 (JSSS) の習得を通じて —

2022 年 9 月 21 日(水)、22 日(木)

## 募集要項



独立行政法人 国際協力機構  
人事部 開発協力人材室

※本研修は対面で実施予定です(新型コロナウイルスの感染状況によつては、オンライン実施に変更する可能性があります)。

## はじめに

ODA 事業においては年間数十件の工事事故が発生していますが、その多くが円借款事業で発生しており、減少傾向にありません。工事安全の一義的な責任はコントラクターが負うべきものである一方で、労働安全法制が十分に整備されていないような開発途上国においては、工事契約の労働安全衛生に係る必要最低限の遵守事項を入札・契約における仕様書 (specification) の一部として個別に補う必要があります。

JICA は、円借款事業に用いられる工事契約一般で適用可能な「JICA 安全標準仕様書 (JSSS)」を作成し、2021 年 3 月に外部公開を行ったうえで、2021 年度以降の新規円借款事業の審査案件から順次適用を進めています。JICA は本仕様書の導入を通じて、安全第一、人命優先という JICA の工事安全方針に対する関係者の理解を深め、災害ゼロに向けた取り組みを強化していく方針です。

JSSS の適用にあたり、コンサルティング企業には①協力準備調査を受注した場合の JSSS の遵守を前提とした安全対策、②円借款案件の設計・入札補助・施工監理を受注した場合の発注者支援 (入札図書の作成段階における本仕様書の組み込み、JSSS 基準を遵守しているかのモニタリング) といった新たなスキルが必要になり、コントラクター企業には仕様書の一部を構成する JSSS を遵守する契約履行上の義務を負うことから、JSSS の十分な理解が必須となります。

本コースの実施を通じて、円借款事業に従事するコンサルタント、コントラクターの JSSS に対する理解を促進し、工事安全に対する意識と能力の向上を図ることで、今後の新規案件への本仕様書の導入を円滑に進め、将来的には ODA 事業での工事事故抑制に繋がることを企図しています。

円借款事業における工事安全の推進のため、多くの皆様のご応募をお待ちしております。

## 1. 研修コース名、研修期間等

- (1) 研修コース名： 2022 年度能力強化研修「円借款の建設工事の安全管理に係る能力強化研修－JICA 安全標準仕様書(JSSS)の習得を通じて－」コース
- (2) 研修期間： 2022 年 9 月 21 日(水)、22 日(木)
- (3) 募集人数： 30 名程度 ※募集人数に追加して、遠隔地在住者を対象にオンラインでの聴講も可能です(20 名程度)。聴講を希望される方は様式 2「自己申告書」の該当欄に「聴講希望」と明記ください(聴講の場合、「演習」部分は「意見交換会」となり、修了証は発給されませんのでご注意ください。(一般公募による参加者とは別に、JICA 内部からも機構内正規受講者として若干名、研修参加者を募集する予定。)
- (4) 研修使用言語： 日本語

## 2. 応募要件

下記の全ての要件を満たす方とします。

- (1) 本邦コンサルタントのうち、円借款事業(インフラ案件)における詳細設計・施工監理業務、安全管理業務、協力準備調査における事業費積算、概略設計等において、実務担当レベルまたは総括レベルであること。または、本邦コントラクターのうち、円借款事業(インフラ案件)における総括レベル、または安全衛生業務を担当するもの。
- (2) 専門能力・経験：円借款事業(インフラ案件)に関わる業務(協力準備調査を含む)での実務経験が 3 年以上あること。
- (3) 語学力：原則として、以下の基準以上の語学力を有すること。  
英検準 1 級、TOEIC 730 点、TOEFL CBT 213 点/iBT 79 点、国連英検 B 級以上
- (4) 全日程に参加可能であること。

## 3. 研修会場： JICA 市ヶ谷ビル

〒162-8433 東京都新宿区市谷本村町 10-5

TEL:03-3269-2911 FAX:03-3269-2054

対面で実施(新型コロナウイルスの感染状況によっては、オンライン(Zoom を利用予定)実施に変更する可能性があります)。

## 4. 研修概要

- (1) 目的 JICA 安全標準仕様書(JSSS)が適用される建設工事において、①コンサルタントとして詳細設計・施工監理業務や安全管理業務、協力準備調査に従事している(今後、従事予定のある)方、②本邦コントラクターとして施工責任者、安全衛生業務を担当している(今後、従事予定のある)方を対象とし、JSSS の内容および契約図書上の位置付けに対する理解、施工現

場での運用の実際等についての理解を促すと共に、以て安全管理についての意識の向上を見込むもの。

【研修の具体的目標】

JSSS 及び JSSS に基づく建設工事の安全管理についての体系的な理解を得る。

(2) 研修プログラム(予定)

日時	時間	テーマ
9月21日(水)	13:00-13:30	開講、オリエンテーション
	13:30-14:30	JICA 安全標準仕様書(JSSS)の概要と作成経緯
	14:40-15:40	JSSS 第1章(総則)
	15:50-18:00	演習
9月22日(木)	13:00-14:00	JSSS 第2章(安全措置一般) 第3章(地下埋設物等及び架空線上空施設一般) 第4章(請負者の機器) 第5章(揚貨・玉掛け作業) 第6章(仮設工事) 第7章(土工工事) 第8章(基礎杭工事) 第9章(コンクリート工事)
	14:10-15:10	演習
	15:20-16:20	事業実施機関のための JSSS 使用ガイド
	16:20-17:50	演習
	17:50-18:00	まとめ、事務連絡

※上記の時間割(案)は一部変更になることがあります。

5. 参考資料

選考の結果、受講者として選定された場合は、下記の資料に目を通した上で研修にご参加ください。リンクが正しく動作しない場合は、URL をコピーして直接タスクバーにコピーしてご利用ください。

(1) JICA 安全標準仕様書(JSSS)

(英)

[https://www.jica.go.jp/english/our\\_work/types\\_of\\_assistance/c8h0vm00008zx0m8-att/jsss\\_01.pdf](https://www.jica.go.jp/english/our_work/types_of_assistance/c8h0vm00008zx0m8-att/jsss_01.pdf)

(和) ※仮訳版

[https://www.jica.go.jp/activities/schemes/oda\\_safety/ku57pq00001nz4eu-att/specific\\_01.pdf](https://www.jica.go.jp/activities/schemes/oda_safety/ku57pq00001nz4eu-att/specific_01.pdf)

(2) 事業実施機関のための「JICA 安全標準仕様書」使用ガイド

(英)

[https://www.jica.go.jp/english/our\\_work/types\\_of\\_assistance/c8h0vm00008zx0m8-att/jsss\\_02.pdf](https://www.jica.go.jp/english/our_work/types_of_assistance/c8h0vm00008zx0m8-att/jsss_02.pdf)

(和) ※仮訳版

[https://www.jica.go.jp/activities/schemes/oda\\_safety/ku57pq00001nz4eu-att/guide\\_01.pdf](https://www.jica.go.jp/activities/schemes/oda_safety/ku57pq00001nz4eu-att/guide_01.pdf)

(3) (2021 年度)円借款の建設工事の安全管理に係るコンサルタント能力強化研修 動画

● [JSSS 第 1 章\(総則\)1](#)

[https://youtu.be/Cy\\_ErbYGmJc?list=PLWCHbC624yxplc65XaeD0xQY2noennXhp](https://youtu.be/Cy_ErbYGmJc?list=PLWCHbC624yxplc65XaeD0xQY2noennXhp)

● [JSSS 第 1 章\(総則\)2](#)

<https://youtu.be/FKwT1ldoXCc?list=PLWCHbC624yxplc65XaeD0xQY2noennXhp>

● [JSSS 使用ガイド](#)

<https://youtu.be/cR5WDhbrZgc?list=PLWCHbC624yxplc65XaeD0xQY2noennXhp>

● [JSSS 第 2～9 章](#)

<https://youtu.be/YgqpNAfAEuQ?list=PLWCHbC624yxplc65XaeD0xQY2noennXhp>

## 6. 応募方法

以下の(2)に記載されている提出書類を揃え、締切日までに JICA が運営している国際キャリア総合情報サイト「PARTNER」(以下、「PARTNER」という。)から応募してください。応募書類の受付後、応募時に「PARTNER」で指定した本人連絡用 E メールアドレスに対し、受領通知メールと共に応募案件番号(受付番号)を通知します。応募後、3 営業日以内に受領通知が届かない場合は、下記の「国際協力人材登録に関するお問い合わせ先」までご連絡ください。

【国際協力人材登録に関するお問い合わせ先】

独立行政法人国際協力機構 PARTNER 事務局

以下 URL、PARTNER ホームページの「お問い合わせ」からお願いします。

<https://jicaps.secure.force.com/inquiryedit>

### (1) 「PARTNER」への登録

応募はすべて「PARTNER」経由で行います。応募にあたっては「PARTNER」に国際協力人材登録（簡易登録不可）がなされていることが必須ですので、登録されていない方はまず「PARTNER」での人材登録を行ってください。

※新規登録手続きには、3営業日程度を要しますので、お早めに登録ください。

**「PARTNER」の URL** <http://partner.jica.go.jp/>

#### 【PARTNER 登録の注意事項】

同じく入力フォーム4ページ目「プロフィールの公開」欄で「希望する」を選択し、公開先には必ず「JICA」を選択してください。

### (2) 応募書類

すべて所定の様式をご使用ください。所定の様式は、JICA ホームページ (<http://www.jica.go.jp/recruit/kyokakenshu/top.html>) からダウンロードしてください。①の履歴書についてのみ、PARTNER から書式をダウンロードして作成してください。

- ① 履歴書： 応募に必要な「研修用履歴書」（履歴書への写真添付は不要です）。一般履歴書など他の様式の履歴書は受け付けません。履歴書は、「PARTNER」ログイン後、マイページのメニューから作成できます。ファイル名は「氏名\_1 履歴書」としてください。
- ② 推薦書： 所属先のある方は必ず所属先の研修参加の了承を得てください。推薦書が用意できない場合は、その理由を記載してください。自営の方や所属先のない方は不要です。所属先にて応募者ご本人が代表を勤めている方も必要ありません。ファイル名は「氏名\_3 推薦書」としてください。なお、推薦書は書式不問です。
- ③ 自己申告書： 必ず所定の様式を使用して提出してください。なお、障害のある方等で合理的な配慮が必要な方は自己申告書の該当項目（第3項目）に必ず記載をお願いいたします。ファイル名は「氏名\_2 自己申告書」としてください。

### (3) 応募

応募期間内に「PARTNER」の応募画面から応募してください（予め応募書類をご準備ください）。

- ① 以下の URL から「PARTNER」にアクセスし、画面右上の“ログイン”をクリックして「PARTNER」にログインします。

**「PARTNER」の URL** <http://partner.jica.go.jp/>

- ② 「研修セミナー情報」画面から該当のセミナー情報を検索し、「この案件に応募する」をクリックしてください。
- ③ 上記（2）の応募書類を添付してください。

## 7. 応募締め切り: **2022年7月22日(金)**

## 8. 選考結果の発表

応募書類を審査の上、**2022年8月18日(木)**を目途に、下記の「PARTNER」のマイページ上で合格者の応募案件番号(受付番号)を発表します。「PARTNER」にログインし、マイページの「PARTNERからのお知らせ」をご確認ください。書面による通知及び JICA ホームページ上では発表しません。

ご自身の応募案件番号(受付番号)は受領通知メール、又はマイページ「メールボックス」の「受信BOX」で「【PARTNER】研修・セミナーへの応募送信完了のお知らせ」を参照ください。なお、選考結果に関する個別のお問い合わせには一切お答え出来ませんので、あらかじめご了承ください。

「PARTNER」の URL <http://partner.jica.go.jp/>

**9. 修了証の発給: 修了証はテストを行い、合格された方に事後にメールで発給します。一度不合格となった方についても再試験を行う予定です。**※本研修の修了証保有者は JICA 発注の協力準備調査(有償)の業務実施契約の公示において「その他語学・資格」の評価対象になる場合があります。

10. 参加費: 無料

## 11. 留意事項:

- (1) 情報保障等合理的配慮が必要な方につきましては、お気軽にご相談ください。
- (2) 研修期間中の事故等については、JICA は一切責任を負いません。予めご了承ください。
- (3) 研修実施に影響を及ぼすため、合格後の辞退は出来るだけご遠慮ください。
- (4) 円滑な研修運営に支障を来す恐れがあり、受講者本人や他の受講者の不利益になると JICA が判断した場合は、その後の研修参加をお断りする場合があります。
- (5) 研修修了一定期間の後、研修後の国際協力事業へのかかわり等に関するフォローアップ調査をアンケート形式で実施しますので、回答にご協力願います。
- (6) 受講のために必要な経費は自己負担となります。(宿泊先の紹介および斡旋は行ってないところ、あらかじめご了承ください。)
- (7) 本研修では、「聴講者」としてご申請の場合、又は突然コロナ禍によりオンライン実施となった場合の)オンライン受講に必要な端末(PCを推奨)や、安定したインターネット環境(Wi-Fi等)等を、ご準備ください。

- (8) 本研修では、電子データにて講義資料をご覧いただくため、対面研修の際にはノートパソコンをご持参いただくようお願いいたします。

以上

様式 1 推薦書(書式不問)

様式 2 自己申告書

—ご提出頂く応募書類の取り扱いについて—

提出書類は、選考の結果にかかわらず返却しませんので、あらかじめご了承ください。

**【個人情報の利用目的】**

当機構が収集した応募者の個人情報は、以下の目的で利用させていただきます。当機構は、ご本人の同意を得ないで、この利用目的の達成に必要な範囲を超えて応募者の個人情報を利用いたしません。

1. 当機構が能力強化研修の受講者の選考を行うため
2. 当機構の研修実施にかかわる各種情報(セミナー・イベントやホームページの案内等)や、人材募集情報の提供や連絡等を行うため
3. 応募者についての統計、データ分析を行うため
4. 研修の修了後、研修修了者へ能力強化研修の成果の活用状況について照会し、この結果を統計データとしてまとめ、将来的な研修カリキュラム改善に活かすため

**【個人情報の取扱いについて】**

当機構は収集した個人情報を当機構の責任のもとで適切に管理し、研修の受講に至らなかった場合は、当機構の責任のもとで適切に廃棄致します。この場合、書類の返却は致しておりませんのでご了承ください。

**【応募に関する問い合わせ先】**

独立行政法人国際協力機構 人事部開発協力人材室(研修管理室)

〒162-8433 東京都新宿区市谷本村町 10-5 JICA 市ヶ谷ビル

TEL: 03-3269-3471 E-mail: hrgtc@jica.go.jp